朝鮮語辞典（凡例）

この辞典の使い方

1　見出し語

1.1　本辞典の語の配列は，ハングルの字母順に従った．

初声　ㄱ ㄲ ㄴ ㄷ ㄸ ㄹ ㅁ ㅂ ㅃ ㅅ ㅆ ㅇ ㅈ ㅉ ㅊ ㅋ ㅌ ㅍ ㅎ

中声　ㅏ ㅐ ㅑ ㅒ ㅓ ㅔ ㅕ ㅖ ㅗ ㅘ ㅙ ㅚ ㅛ ㅜ ㅝ ㅞ ㅟ ㅠ ㅡ ㅢ ㅣ

終声　ㄱ ㄲ ㄳ ㄴ ㄵ ㄶ ㄷ ㄹ ㄺ ㄻ ㄼ ㄽ ㄾ ㄿ ㅀ ㅁ ㅂ ㅄ ㅅ ㅆ ㅇ ㅈ ㅊ ㅋ ㅌ ㅍ ㅎ

本辞典の上記の字母順および見出し語の綴り字は，1989年3月に大韓民国で施行された正書法に基づいている．

なお，参考までに，以下に朝鮮民主主義人民共和国における字母順を示しておく．

初声　ㄱ ㄴ ㄷ ㄹ ㅁ ㅂ ㅅ ㅈ ㅊ ㅋ ㅌ ㅍ ㅎ ㄲ ㄸ ㅃ ㅆ ㅉ ㅇ

中声　ㅏ ㅑ ㅓ ㅕ ㅗ ㅛ ㅜ ㅠ ㅡ ㅣ ㅐ ㅒ ㅔ ㅖ ㅘ ㅝ ㅙ ㅞ ㅚ ㅟ ㅢ

終声　ㄱ ㄳ ㄴ ㄵ ㄶ ㄷ ㄹ ㄺ ㄻ ㄼ ㄽ ㄾ ㄿ ㅀ ㅁ ㅂ ㅄ ㅅ ㅇ ㅈ ㅊ ㅋ ㅌ ㅍ ㅎ ㄲ ㅆ

1.2　見出し語の中で最重要語（1650語）は，見出しの前に ⁑ を付けて示し，基本語（4400語）は，見出し語の前に*を付けて示した．

⁑가꾸다/ka⁷kuda カックダ/ 他 ➡ 7 〔가꾸어서/가꿔서〕 1 栽培する，…

*사귀다/sagwida/ 自 他 ➡ 4 〔사귀어서〕 1 つきあう，…

*차갑다/ʧʰagaᵖ⁷ta/ ➡ ㅂ変 形 ➡ 53 〔차가운，차가워서〕 …

1.3　ハイフン

① 基本語幹・変化形語幹と接頭辞には見出し語の後にハイフンをつけた．また，補助語幹には見出し語の前と後に，語尾と接尾辞には見出し語の前にハイフンをつけた．

죽-⁴ ＜죽다.

새-¹⁰/sɛ/ 接頭 …

-겠-/keᵗ/ 補幹 …

-거리다/kɔrida/ 接尾 …

② 語根（語の基本成分）が繰り返されたものや，

語根に接尾辞がついたものは，その間にハイフンを入れた．

싱글-싱글/ʃiŋgɯlʃiŋgɯl/ …

말끔-하다/malʔkɯmɦada/ …

시작-품[2]【試作品】/ʃiːʤakpʰum/ …

1.4 子見出し：親見出しに接尾辞の -거리다 · -되다 · -로이 · -롭다 · -스럽다 · -스레 · -이 · -하다がついたもの，見出し語の反復形，形容詞 · 存在詞の副詞形（-이，-히，-없이）を子見出しとし，親見出しに追い込んで示した．なお，親見出しの解説から訳語が容易に分かるものについては，品詞を示すだけで，訳語を省略した．

가뜩[1]/kaʔtɯk/ 副 가득の強勢語: …

★가뜩-가뜩 副 하形

★가뜩-이 副 …

★가뜩-하다 ➡ 하変 形 ➡ 50 …

뒤척-뒤척/twitʃʰɔkʔtwitʃʰɔk/ 副 하他 かき回してさがすようす: ごそごそ（と）．

★뒤척-거리다 他 ➡ 8 あちこちひっくり返す［かき回す］．

본격-화【本格化】/ponʔkjɔkkʰwa/ 名 하自 本格化．… 본격화-되다 自 ➡ 6 本格化する．…

아낌-없다/aʔkimɔːpʔta/ 存 ➡ 32 《おもに아낌없는の形で》惜しまない，…

★아낌없-이 副 惜しみなく，惜し気もなく．…

1.5 内容の上からは，一般的な見出し語のほかに，変化形見出し，空見出し，送り見出しがある．変化形見出しは，不規則活用の活用形や語幹，縮約形，および同形異語である．同形異語というのは，「本来異なる語形を持つ語が，合成語を形成したり，語尾や助詞を取ることによって同形になったもの」を指す．例えば，「나는」という綴り字は，動詞나다の現在連体形，動詞날다の現在連体形，代名詞나＋助詞는，の3通りに分析が可能であり，これらがすなわち同形異語である．以下に変化形見出しの例を示す．

가까우- ＜가깝(다)＋-으-[2]．

가까워 ＜가깝(다)＋-아[9]．

나는[1]/nanɯn/＜나[7]＋는[2]: 私は．縮約 난．

나는[2] ＜나(다)＋-는[3]; 날(다)＋-는[3]．

난[6] /nan/나는[1]の縮約形: 私は．…

사[17] ＜사(다)＋-아[9]．

사-[18] ＜사다; 살다．

살-[7] ＜살다．

空見出しは，古い綴り字や方言などを見出し語としたもので，語義の説明は行なわず，検索すべき

見出し語を＝で示した.
마후라 /mafiura/ 名 ＝머플러.
고직【庫直】/koʤi^{k}/ 名 ＝고지기(庫ー).
강냉이 /kaŋnɛŋi/ 名 ＝옥수수.

送り見出しは,
① 母音体言と子音体言，母音語幹と子音語幹，陽語幹と陰語幹とで異なる接続形を持つ助詞と語尾,
② 補助語幹や助詞・語尾が結合したり縮約したもの,
③ 助詞が落ちて一語化した慣用句,
④ 本来の見出し語の一部,
の4通りの場合があり，すべて⇒で示した.
①は「母音体言に付く助詞」「母音語幹に付く語尾」「陽語幹に付く語尾」で語義説明を行ない,「子音体言に付く助詞」「子音語幹に付く語尾」「陰語幹に付く語尾」は原則として発音と品詞のみを示し，語義説明は「母音体言に付く助詞」「母音語幹に付く語尾」「陽語幹に付く語尾」に送る（ただし最重要語については送らずにその見出し語の下で説明する）.
②はもっとも中心となる見出し語に送り,
③は慣用句の中心となる見出し語に,
④は本来の見出し語に送る.
-으려던데/ɯrjɔdɔnde/ 語尾⇒-려던데.
-으시라/ɯʃira/＜-으시-+-라^{5}⇒-라^{5}.
이시여/iʃijɔ/ 助⇒시여.
마음-놓이다/maɯmnoida/ 自➡8＝마음(이)놓이다. ⇒ 마음.
-거야^{3}/kɔja/⇒-르거야.

1.6 漢字語は，ハングル見出しに続けて【 】内に該当する漢字を正字で示した.
단체^{2}【團體】/tanʧ^{h}e タンチェ / 名 団体. …

1.7 同形異義語（いわゆる同音異義語）の配列順序は，次の原則に従い，肩数字（$^{1,2,3\cdots}$）を見出し語の右肩につけた.
① 見出し語は，次に示す品詞の順序に配列した.
名詞・依存名詞・代名詞・数詞・自動詞・他動詞・使役動詞・受動動詞・形容詞・冠形詞・存在詞・指定詞・補助動詞・補助形容詞・補助存在詞・副詞・感嘆詞・縮約形・活用形・用言語幹・補助語幹・助詞・助詞と語尾の結合形・語尾・語尾と助詞の結合形・接頭辞・接尾辞
거니^{1}/kɔni/ 1 것이니(것＋이다^{3}＋-니^{2})の縮約形: …ものだから，…のだから. …

거니[2] <걸(다)+-니.
거니-[3] <거닐다.
-거니[4] /kɔni/ 語尾 ➡ 1類《語幹および補助語幹につく接続語尾. …》…

② 品詞が同じものについては，語類の順に従う．語類は，固有語·漢字語·外来語の順に配列した．

③ 漢字語は，総画数の少ないものから多いものへと配列した．

나[1] /na/ 名 나이の縮約形: 年(とし)，年齢. …
나[2]【螺】/na/ 名 나각(螺角)の縮約形.
나[3]【羅】/na/ 名 羅(ら)，うすぎぬ.
나[4]【羅】/na/ 名 [姓] ナ，羅.
나[5]【鸞】/na/ 名 =연가(煙家).
나[6]【鑼】/na/ 名 [楽] 鑼(ら)，どら.
나[7] /na ナ/ 代 1 私，僕，おれ. …
나[8] /na/ <나(다)+-아[9].
나-[9] <나다; 날다.
나[10] /na ナ/ 助《母音で終わる体言につく. ⇒이나》…
-나[11] /na/ 語尾 ➡ 3類《母音語幹·ㄹ語幹のㄹ脱落形…
-나[12] /na/ 語尾 ➡ 2類《動詞·存在詞の語幹および…

1.8 最重要語および基本語の用言については，以下のような活用形を〔 〕内に示した．これらの活用形は，基本語幹に直接語尾をつけた形とは多少異なる形をしており，他の活用形を求めるときの基本となる形である．これらの形を修得することは学習上効果が大きい．

① 正則母音語幹用言のうち，連用形で語尾の-아[-어]が落ちるものおよび必ず縮約するものについては-아서[-어서]のついた形を示した(活用番号 1 2 9 10 36 ⇨7 活用番号·接続の類番号)．
사다/sada/ 他 ➡ 1〔사서〕…
일어-서다/irɔsɔda/ 自 ➡ 2〔일어서서〕…
나-가다[1] /nagada/ 自 ➡ 9〔나가서〕…
오다[1] /oda/ 自 ➡ 10〔와서〕…
비싸다/pi˒sada/ 形 ➡ 36〔비싸서〕…

② 正則母音語幹用言のうち，連用形で語尾の-아[-어]が落ちる場合と縮約する場合があるものについては-아서[-어서]のついた形を2通り示した．(活用番号 3 5-8 37 39-41)
나누다/nanuda/ 他 ➡ 7〔나누어서/나눠서〕…
세다[4] /se:da/ 形 ➡ 37〔세어서/세서〕

시다/ʃida/〔시어서/셔서〕Ⅰ 形 ➡ 41 …

③ 変則母音語幹用言（으変則・르変則・러変則・우変則・하変則・어変則）については，-아서[-어서]のついた形を示した．ただし하変則については，非縮約形と縮約形の2通りを示した．（活用番号 14-21 45-51）

모으다/moɯda/ ➡ 으変 他 ➡ 14〔모아서〕…
마르다[1]/marɯda/ ➡ 르変 自 ➡ 16〔말라서〕…
이르다[1]/iɾɯda/ ➡ 러変 自 ➡ 18〔이르러서〕…
푸다/pʰuda/ ➡ 우変 他 ➡ 19〔퍼서〕…
그러다[1]/kɯrɔda/ ➡ 어変 他 ➡ 21〔그래서〕…
기쁘다/kiˀpʰda/ ➡ 으変 形 ➡ 46〔기뻐서〕…
이르다[3]/iɾɯda/ ➡ 르変 形 ➡ 48〔일러서〕…
푸르다/pʰuɾɯda/ ➡ 러変 形 ➡ 49〔푸르러서〕…
조용-하다/ʧojoːŋɦada/ ➡ 하変 形 ➡ 50〔조용하여서/조용해서〕…

④ 変則子音語幹用言（ㅂ変則・ㄷ変則・ㅅ変則・ㅎ変則）については，動詞の過去連体形・形容詞の現在連体形と，-아서[-어서]のついた形を示した．（活用番号 22-28 52-59）

돕다/toːᵖˀta/ ➡ ㅂ変 他 ➡ 22〔도운，도와서〕…
깨닫다/ˀkɛdaᵗˀta/ ➡ ㄷ変 他 ➡ 25〔깨달은，깨달아서〕…
짓다[1]/ʧiːᵗˀta/ ➡ ㅅ変 他 ➡ 28〔지은，지어서〕…
가깝다/kaˀkaᵖˀta/ ➡ ㅂ変 形 ➡ 53〔가까운，가까워서〕…
낫다[2]/naːᵗˀta/ ➡ ㅅ変 形 ➡ 55〔나은，나아서〕…
까맣다/ˀkamaˀtʰa/ ➡ 하変 形 ➡ 56〔까만，까매서〕…

⑤ ㄹ語幹は，1音節語幹と2音節語幹のものについて，現在連体形を示した．（活用番号 29 30 60 61）

살다[1]/saːlda/ ➡ ㄹ語幹 自 ➡ 29〔사는〕…
길다/kiːlda/ ➡ ㄹ語幹 形 ➡ 61〔긴〕…

⑥ 存在詞は現在連体形を示した．（活用番号 31 32 33）

있다[1]/iᵗˀta/ 存 ➡ 31〔있는〕…
계시다[1]/keːʃida/ 存 ➡ 33〔계시는/계신〕…

⑦ 指定詞は現在連体形と引用形を示した．（活用番号 34 35）

이다[3]/ida/ 指 ➡ 34〔인，이라고〕…
아니다/anida/ 指 ➡ 35〔아닌，아니라고〕…

1.9 子見出しが二つ以上ある場合は，親見出しの配列順に従った．

1.10 ㄴやㄹで始まる単語が見出し語に出ていないときは，以下の規則に従って引き直せばよい．

① 녀, 뇨, 뉴, 니は여, 요, 유, 이に変わる.
　녀사→여사【女史】　　니류→이류【泥流】
② 랴, 려, 례, 료, 류, 리は야, 여, 예, 요, 유, 이に変わる.
　량면→양면【兩面】　　려행→여행【旅行】
　례절→예절【禮節】　　료리→요리【料理】
　류행→유행【流行】　　리론→이론【理論】
③ 라, 래, 로, 뢰, 루, 르は나, 내, 노, 뇌, 누, 느に変わる.
　락농→낙농【酪農】　　래일→내일【來日】
　로동→노동【勞動】　　뢰우→뇌우【雷雨】
　루적→누적【累積】　　릉선→능선【稜線】

1.11　朝鮮民主主義人民共和国や中国（特に吉林省延辺朝鮮族自治州）の朝鮮族の間で用いられている単語や語義も収録した.
　곽밥【槨ー】/kwa$^{k\gamma}$pa$^{p\gamma}$/ 名〈共和国で〉弁当. ⇒도시락.
　나다[2]/nada/ 補動 …… 4〈中国で〉《形容詞の連用形に付いて》状態の変化を表わす: …(く)なる. …

2　変化形見出し語

2.1　1音節および2音節語幹の用言については以下のような変化形見出し語を立項した.
① 1音節語幹の用言の語幹.
　맞- <맞다.
② 正則母音語幹用言のうち，連用形で語尾の-아[-어]が落ちるものと縮約するものの連用形.
　가[6]/ka:/<가(다)+-아[9]. …
　내[5] <내(다)+-어[9].
　져 <지(다)+-어[9].
③ ㄹ語幹については，ㄹ脱落形・1音節語幹の現在連体形・1音節語幹の未来連体形・1音節語幹の動詞の過去連体形.
　기-[13] <기다; 길다.
　만드- <만들다.
　드는 <들(다)+-는[3].
　긴[2] <기(다)+-ㄴ[3]; 길(다)+-ㄴ[3].
　멀[2] <멀(다)+-ㄹ[3].
　빤 <빨(다)+-ㄴ[3].
④ 変則母音語幹用言の連用形.
　예뻐 <예쁘(다)+-어[9].
　퍼 <푸(다)+-어[9].
　흘러 <흐르(다)+-어[9].

푸르러 <푸르(다)+-어[9].
감해 <감하(다)+-여[9].

⑤ 変則子音語幹用言については，連用形と語尾の一部がついた形.
들어 <듣(다)+-어[9]; 들(다)+-어[9].
지어[2] <짓(다)+-어[9].
추우- <춥(다)+-으-[2].
들으- <듣(다)+-으-[2].
지으- <짓(다)+-으-[2].
파라- <파랗(다)+-으-[2].

⑥ 1音節または2音節語幹で同形異語のあるもの.
가신[4] <가(다)+-시-[9]+-ㄴ[3]; 가시(다)+-ㄴ[3]; 갈(다)+-시-[9]+-ㄴ[3].
겨울[2] <겯(다)+-을[3].
개서[3] <개(다)+-어서[2].

2.2 変化形見出し語の読み方

지은，파라면などは，一見すると「지으다，파라다」の活用形のように思える．ところが，従来の辞書では지으다や파라다を引こうとしても望む形が得られないことが多い．本辞典では，지으-や파라-という形を立項することによって，これらが짓다および파랗다の活用形であることを明らかにした．

変化形見出しは，가신や겨울のように単独で用いられるものもあるが，その後に更に語尾がついたり，活用形の一部となるものもある．

例えば，連用形はそれだけで文中に現われるだけでなく，過去形や略待上称を形成するときの基本となる．

가→가，가서，갔습니다，가요.
지어→지어，지어서，지었다，지어요.

-으-[2]は-으で始まる語尾や補助語幹を代表させたものであって，-으면，-으니까，-은，-을，-으시-などと置き換えることができる．

また，用言と語尾との結合形が縮約したもの，体言と助詞との結合形が縮約したもの以外に，助詞と助詞の結合形が縮約したもの，語尾と助詞の結合形などを広範囲に収録し，学習の助けとした．

그걸-로/kɯgɔllo/ 그것으로(그것+으로)の縮約形: それで. …
놨-/nwa[t]/ 놓았-(<놓다+-았-)の縮約形.
-려서는 …….-려고 해서는の縮約形: …しようとしては. …
서는[2] /sɔnɯn/ <서[10]+는[2]: …では，…からは. …

3　発音記号　⇨「発音解説」を参照のこと.

3.1　すべての見出し語に国際音声記号を付けて，発音を示した．最重要語のすべておよび基本語のうち音変化の生じる語は国際音声記号のほかに，カナ発音を付けた.

급속-히【急速－】/kɯpˀsoᵏkʰi クプソㇰキ/…
독립【獨立】/toŋniᵖ トンニㇷﾟ/…

3.2　子見出しと用言の活用形・用言語幹には発音表記を省略した.

3.3　内破音，激音，濃音，有声のhは，それぞれ[ᵏ]，[ᵗ]，[ᵖ]，[ʰ]，[ˀ]，[ɦ] で示した.

밭[1] /paᵗ/ …
시키다[1] /ʃikʰida/ …
까다롭다 /ˀkaːdaroᵖˀta/ …
일흔 /irɦɯn/ …

3.4　発音に揺れのある見出し語には2通りの発音記号をつけた.

교과-서【教科書】/kjoːgwasɔ / kjoːˀkwasɔ キョーグヮソ / キョーックヮソ/ …

3.5　〈中国で〉と示した単語の発音記号は，ㅣと結合する場合を除きㅈを［ts/ʧ; dz/ʤ］で，ㅉを［ˀts/ˀʧ］で，ㅊを［tsʰ/ʧʰ］で示し，鼻音化は2通りの形を示した.

긴장-하다[2]【緊張－】/kindzaŋɦada/ kinʤaŋɦada/…
차별[2]【差別】/tsʰabjɔl/ʧʰabjɔl/…
경리[2]【經理】/kjɔŋri/kjɔŋni/…

3.6　口語体で発音の違いが顕著なものについては，►で口語体の発音を示した.

►口語体では꽃이，꽃은，꽃을を［ˀkoʃi］［ˀkosɯn］［ˀkosɯl］とも発音する.

4　語義・訳語・用例・慣用句

4.1　語義番号：品詞が違う場合はⅠ，Ⅱ，Ⅲ，…で，同じ品詞の中では1，2，3，…で，さらに細分する場合には①，②，③，…で示した.

4.2　語義の配列は原則として，使用頻度順とした.

4.3　2つ以上の訳語のあるものは「,」で並記し，語義に隔たりのある訳語は「;」で示した.

4.4　文法的な解説は《　》で示した．説明と訳語の区切りは「:」で示した.

4.5　訳語・訳文の正確な定義をするために必要

に応じて( )を用いて補足的な説明を加えた.

4.6 特に注意すべきものについては▶や[メモ]を設けて説明した.

4.7 用例のうち,見出し語に相当する部分は「～」で示した.見出し語と異なる形で現われるものは全書した.文末で動詞を原形のまま用例としたものにはピリオドをつけず,活用させた用例にはピリオドをつけた.

4.8 慣用句は◆で示した.

4.9 諺は〔諺〕で示した.

4.10 外来語・慣用読み・転成語などは,< を用いて元の形を示した.なお,外来語のうち動植物名や国名などについては元の形はいちいち示さなかった.「英語」「フランス語」などは,それぞれ「<英」「<仏」などの省略形で示した.

5 [単語帳] [対照表] [メモ]

5.1 [単語帳]によって関連語彙を示し,日常よく使われる単語の整理や作文に役立つように工夫した.
5.2 [対照表]によって語彙体系を示し,語義を多面的・立体的に把握できるようにした.
5.3 [メモ]欄で関連事項の解説や語義の補足説明などを行なった.

6 アスペクト

日本語の「…ている」という形式は,「読んでいる」では進行中の動作を表わし,「座っている」では動作が完了した後の状態を表わしている.このような文法現象を「アスペクト」と呼び,朝鮮語では-고 있다と-아[-어] 있다で典型的に示される.
本辞典では動詞の最重要語については,それが-고 있다または-아[-어] 있다のいずれを取るかということ,およびその形がいかなる意味を持つかを説明した(本文있다[2]も参照のこと).何も記述されていない場合は,その動詞には-고 있다も-아[-어] 있다もつかないことを示している.

가다[1] /kada カダ/ 自➡9〔가서〕行く,帰る,過ぎ去る.1 ① 行く,向かう,赴く,…
▶가고 있다は「行きつつある」という進行中の動作および習慣を表わし,가 있다は目的地にすでに到着してそこにいる状態を表わす.

7　活用番号・接続の類番号

活用番号：用言・補助語幹には，その活用の仕方に応じて1-67の活用番号をつけた．

接続の類番号：語尾には，語幹への接続の仕方に応じて1類-5類の類番号をつけた．これらの番号にジャンプして調べることにより，すべての活用形をつくることができる．

나가다 ……9	멀다 ……61
바쁘다 ……45	사다 ……1
잡다 ……11	
-거나 ……1類	-니까 ……3類
-아 ……5類	

たとえば나가다は가다と同じ活用をするので，나가지만，나가던，나간다，나갑니다…などの形を取ることが分かる．また，바쁘다に語尾-거나を接続するときは，바쁘다が아프다と同じ活用をすることと，-거나が1類であることから，바쁘거나とすればよいことが分かるし，同様に멀다に-니까を接続するときには，멀다が길다と同じ活用をすることと，-니까が3類であることから，머니까とすればよいことが分かる．

8　品詞表示と派生表示など

8.1　品詞表示とその意味するところは次のとおりである．（「9 用語解説」も参照のこと）

名　名詞：事物の名前を示す品詞で，助詞가［이］を伴って主語になりうる．사과，봄など．

依名　依存名詞：必ず修飾語を必要とする名詞．분，것，바など．なお，依存名詞の下位類として物を数えるときの単位である助数詞がある．권，마리など．

代　代名詞：事物に名前を付けず，指示のみを行なう品詞．나，너，우리，저희，그，자기など．

数　数詞：事物の数量や順序を示す品詞．

自　自動詞：事物の動きを過程的に表示する用言のうち，主語にのみ動作が及ぶもの．가다，돌다など．

他　他動詞：事物の動きを過程的に表示する用言のうち，主語と目的語に動作が及ぶもの．먹다，깎다，주다など．

使役　使役動詞：他に動作を行なわせることを示す動詞．먹이다，입히다など．

受動　受動動詞：他から動作を受けることを示す動詞．먹히다，쓰이다など．

形　形容詞：事物の性質や状態を示す用言．붉다，덥다，아프다など．

冠　冠形詞：助詞や語尾を伴うことなく，常に体言を修飾するだけで述語になれない品詞．새，이，무슨など．

存　存在詞：事物の存在および非存在を示す品詞．있다，없다，계시다．

指　指定詞：体言に付いて「…だ」「…でない」という意味を表わす用言をいう．이다，아니다．

補動　補助動詞：他の用言に付いて進行・終結などの文法的意味を付け加える動詞．가다，두다など．

補形　補助形容詞：他の用言に付いて希望・否定などの文法的意味を付け加える形容詞．싶다，않다など．

補存　補助存在詞：進行中の動作や状態を示す存在詞．있다，계시다．

副　副詞：用言や他の語を修飾する品詞．活用せず，助詞が自由につきにくい．빨리，많이，아직など．

感　感嘆詞：話者が自らの感情や意志を直接表示する品詞．単独で独立した文のような機能を果たす．아이고，허，응，아차など．

補幹　補助語幹：語幹と語尾の間に位置して時制・尊敬などを示す部分をいう．-시-，-겠-，-았-など．

助　助詞：単語または文節に付いてその語と他の語との関係を示したり，意味を追加したりする品詞．가，이，에게，를など．

語尾　語尾：用言の語幹に付いて，さまざまな文法的意味を表示する部分をいう．-고，-지만，-면など．

接頭　接頭辞：常に他の語の前に付いて意味を強めたり意味を添えたりする造語要素．헛-，갓-など．

接尾　接尾辞：常に他の語の後に付いて意味を強めたり意味を添えたり品詞を変えたりする造語要素．-이，-답다，-거리다など．

8.2　品詞表示のない見出し語

品詞表示のない見出し語には，縮約形，助詞の後にさらに助詞が接続したもの，語尾に助詞が接続したもの，変化形見出し，などがある．

건[7] /kɔn/ 1 것은(것＋은[5])の縮約形: ものは，のは．…

건[8] ＜걸(다)＋-ㄴ[3].

게까지[1] /ke⁷kaʤi/ ＜게[6]＋까지: …にまで．

-게까지[2] /ke⁷kaʤi/ ＜-게[8]＋까지: …するまで，

…くまで, …するようになるまで. …

8.3 派生表示：見出し語に接尾辞が付くことによって新たな品詞の語が派生される場合，以下のように示した.

- 되受動 見出し語に되다が付いて受動動詞になる.
- 하自 見出し語に하다が付いて自動詞になる.
- 하他 見出し語に하다が付いて他動詞になる.
- 하自他 見出し語に하다が付いて自動詞および他動詞になる.
- 하形 見出し語に하다が付いて形容詞になる.
- 하形自 見出し語に하다が付いて形容詞および自動詞になる.

動作性名詞については，それが되다を伴うことによって自動詞や受動動詞になるか否かを示した. 用言が-아지다 [-어지다] , -아하다 [-어하다] を伴って派生語を生ずる時には，できるかぎりこれを示した.

9 用語解説

9.1 用言：時制活用をする語で, 文の述語になりうるものをいう. 用言に含まれる品詞には動詞・形容詞・存在詞・指定詞がある.

- 動詞：事物の動きを過程的に表示する用言で, 現在下称形が -ㄴ다 [-는다] になるもの.
- 形容詞：事物の性質や状態を示す用言で，現在下称形が基本形と同じ形になるもの.
- 存在詞：用言のうちで, 있다, 없다, 계시다をいう.
- 指定詞：用言のうちで, 이다, 아니다をいう.

9.2 母音

- 陽母音：用言の活用に際しては，母音のうちㅏ, ㅑ, ㅗ, ㅘをいい，擬声語・擬態語においてはㅏ, ㅐ, ㅑ, ㅗ, ㅘ, ㅚ, ㅛをいう.
- 陰母音：用言の活用に際しては，陽母音以外のすべての母音をいい，擬声語・擬態語においてはㅓ, ㅔ, ㅕ, ㅜ, ㅝ, ㅟ, ㅠをいう.

9.3 語幹：用言の基本形から語末の-다を除いた残りの部分を基本語幹といい，その変化したものを変化形語幹という.

- 母音語幹：語幹が母音で終わる用言をいう．
- ㄹ語幹：語幹がㄹで終わる用言をいう．
- 子音語幹：語幹が子音で終わる用言をいう．
  - 陽語幹：語幹の最後の音節に陽母音を含むものをいう．ただし，으変則およびㄹ変則にあっては，語幹の最後から2番目の音節に着目する．
  - 陰語幹：語幹の最後の音節に陰母音を含むものをいう．ただし，으変則およびㄹ変則にあっては，語幹の最後から2番目の音節に着目する．なお으変則の単音節語幹は陰語幹である．

9.4 語尾：用言の語幹に付いて，さまざまな文法的意味を表示する部分をいう．

- 接続語尾：文を終結させずに，後続の文に対等・従属などの関係で接続させる語尾をいう．
- 終結語尾：文を終結させる語尾．平叙形・疑問形・命令形などがある．
- 連体形語尾：後続の体言を修飾させる語尾．
- 引用形語尾：引用文を形成する語尾．
- 名詞形語尾：用言を名詞化する語尾（-ㅁ [-음] と-기がこれに相当する）．

9.5 補助語幹：語幹と語尾の間に位置して時制・尊敬などを示す部分をいう．

- 時制補助語幹：時制を示す補助語幹で，過去（-았- [-았-] ）と未来・推量（-겠-）の2種類がある．
- 尊敬補助語幹：文の主語に対する尊敬を示す補助語幹-시-をいう．
- 美化補助語幹：話し手が上品な言葉遣いをしていることを示す補助語幹-옵-をいう．

9.6 待遇法：話し手が文の主語や目的語・聞き手などに対して敬意を示す表現方法をいう．

- 主体待遇法：文の主語に対する話し手の敬意を示す．尊敬法・敬語法ともいい，具体的な語形を敬語形という．敬語形は，尊敬補助語幹で示されるのが普通だが，特殊な形で示されることもある．
- 客体待遇法：動作の及ぶ相手に対する話し手の敬意を示す．謙譲法ともいい，具体的な語形を謙譲形という．
- 対者待遇法：聞き手に対する話し手の敬意の程度を示す．丁寧法ともいい，次の6段階を区別する．

上称（합쇼体）：最も丁寧な表現.
略待上称（해요体）：打ち解けた丁寧な表現.
中称（하오体）：成人同士で軽い敬意を示すのに用いる表現.
等称（하게体）：目下ではあるが子供扱いできない相手に対する表現.
[例] 教授が学生に，親が婿に.
略待（해体，반말）：丁寧な言葉遣いをする必要のない相手に対する表現.
[例] 大人が子供に，親しい友人同士，夫婦・恋人の間で，子供が親に甘えて.
下称（해라体）：聞き手に対する敬意がまったく含まれていない表現.
[例] 地の文や，大人が子供に対して用いる.

美化語：話し手が教養があり，上品な人間であることを示す言葉遣い.

9.7 体言：文の主語や目的語になりうる語をいう．体言に含まれる品詞には名詞・代名詞・数詞がある.

母音体言：語末が母音で終わる体言をいう.
子音体言：語末が子音で終わる体言をいう．語末がㄹで終わる体言を特にㄹ体言と呼んで区別することもある.

9.8

連用形：用言の語幹に語尾-아[-어] がついた形で，文を中止したり，後に補助用言を伴う.
連体形：体言を修飾する形.

9.9

文語体：古めかしい言葉遣いをいう.
口語体：그리구や어디루，할려구のような，会話文で用いられるややくだけた言葉遣いをいう.
文章体：書き言葉で用いられる言葉遣いをいう.
会話体：「-라고 하다」を「-라고 그래」というような，話し言葉で用いられる言葉遣いをいう.

10 位相

位相：以下のような記号を用いて，語の位相を示した.

〈俗〉俗語　〈卑〉卑語　〈方〉方言
〈幼〉幼児語　〈宮廷〉宮廷語
〈共和国で〉朝鮮民主主義人民共和国で用いられる語
〈中国で〉中国の朝鮮族の間で用いられる語

11　記号一覧

11.1　記号

【 】 見出し語に対する漢字表記を示す
/ / 発音記号を示す
〔 〕 用言の活用形を示す　⇨1.8
《 》 文法説明および用法
〈 〉 位相を示す　⇨10
〔 〕 術語・諺
[ ] 前後の入れ替えが可能なことを示す
( ) 本文中のハングルに対する漢字表記・語義の補足説明・省略可能を示す
〔 〕 語源・外来語の原語
¶ 用例の始まり
～ 見出し語相当部分
“ ” 会話文（朝鮮語）
「 」 会話文（日本語）
‘ ’ 作品名（朝鮮語）
『 』 作品名（日本語）
◆ 慣用句
► 補足説明・語法
* 基本語　⇨1.2
⇒ 参照　⇨1.5
➡ ジャンプして参照
- 見出し語の語構成；語幹・語尾・接頭辞・接尾辞・補助語幹の前後
= 人名で姓と名をつなぐ
－ 用例文中の対話をつなぐ
＝ 同義語であることを示す
＜ 語形の由来
… 省略を表わす
＋ 前後の語がくっつくことを示す

11.2　略号

単語帳　⇨5.1
対照表　⇨5.2
メモ　⇨5.3
類　類義語
対　対義語
縮約　縮約形
名　名詞
依名　依存名詞
代　代名詞
数　数詞
自　自動詞
他　他動詞
使役　使役動詞
受動　受動動詞
形　形容詞
冠　冠形詞
存　存在詞
指　指定詞
補動　補助動詞

補形　補助形容詞
補存　補助存在詞
副　副詞
感　感嘆詞
補幹　補助語幹
르変　르変則用言
러変　러変則用言
우変　우変則用言
하変　하変則用言
어変　어変則用言
ㅂ変　ㅂ変則用言
助　助詞
語尾　語尾
接頭　接頭辞
接尾　接尾辞
으変　으変則用言
ㄷ変　ㄷ変則用言
ㅅ変　ㅅ変則用言
ㅎ変　ㅎ変則用言
ㄹ語幹　ㄹ語幹
1 2 3…　⇨ 7
1類 2類…　⇨ 7
되受動　見出し語に되다が付いて受動動詞になる
하自　見出し語に하다が付いて自動詞になる
하他　見出し語に하다が付いて他動詞になる
하自他　見出し語に하다が付いて自動詞および他動詞になる
하形　見出し語に하다が付いて形容詞になる
하形自　見出し語に하다が付いて形容詞および自動詞になる

11.3 専門用語

［医］医学　［印］印刷　［演］演劇
［海］海事, 航海　［貝］貝類名　［化］化学
［解］解剖学　［楽］音楽　［機］機械
［教］教育　［魚］魚類名　［軍］軍事
［経］経済　［言］言語学　［建］建築
［工］工業　［鉱］鉱物, 鉱山　［史］歴史, 古制
［社］社会学　［写］写真　［宗］宗教
［商］商業　［植］植物名, 植物学
［神］神学　［心］心理学　［数］数学
［姓］姓名　［政］政治　［聖］聖書
［生］生物学　［生理］生理学　［地］地学, 地理
［鳥］鳥類名　［哲］哲学　［電］電気
［天］天文, 気象　［動］動物名, 動物学
［土］土木　［農］農業　［美］美術
［法］法律　［薬］薬学　［虫］昆虫
［倫］倫理　［論］論理

発音解説

1．母音

1) 単母音

[i イ] ㅣ 日本語のイとほぼ同じ．唇の形は平たい．

[e エ] ㅔ 日本語のエに似ているが，口のひらきがやや小さく鋭いエ．

[ɛ エ] ㅐ 日本語のエより下あごをかなり引き下げて口を大きくあける．

[a ア] ㅏ 日本語のアとだいたい同じだが，口をいくぶん大きくあける．

[ɔ オ] ㅓ 日本語のアとオの中間的な音で，アよりも口のひらきを小さくして，オを発音するようにする．

[o オ] ㅗ 日本語のオよりも唇を丸めて心持ち前につき出す．

[u ウ] ㅜ 日本語のウよりも唇をかなり丸めて前につき出す．

[ɯ ウ] ㅡ 日本語のウから唇の丸みをのぞいた音．唇の両端を引いて発音する．唇の形は平たい．

2) 二重母音

[ɯi ウイ] ㅢ

語頭では [ɯi ウイ] と発音されるが（例：의사 [ɯisa ウイサ] 医者），子音のあとおよび第2音節以下では [i イ]（例：히다 [hida ヒダ] 白い，문의 [mu:ni ムーニ] 問い合わせ，강의 [ka:ŋi カーンイ] 講義，주의 [ʧu:i チューイ] 注意）と発音される．また，所有格助詞 의（の）は [e エ] と発音されることがある．

3) 半母音＋単母音

次に示すように半母音には，平唇性の [j] と円唇性の [w] の二つがある．

[ja ヤ] [jo ヨ] [ju ユ] [wa ワ] については日本語とほぼ同じである．その他のものについては単母音の発音の要領に従えばよい．[we] には文字による区別がある．

① 平唇半母音系

[je イエ]	ㅖ	[jɛ イエ]	ㅒ
[ja ヤ]	ㅑ	[jɔ ヨ]	ㅕ
[jo ヨ]	ㅛ	[ju ユ]	ㅠ

[je] については，母音＋예では [je] と発音されるが（例：아예 [aje アイエ] 最初から，노예 [noje ノイエ] 奴隷），子音＋ㅖ（例：계시다

[ke:ʃida ケーシダ] いらっしゃる，실례 [ʃille シルレ] 失礼)，子音＋예(例：문예[mune ムネ] 文芸) の場合には単母音 [e] と発音されることが多い．

② 円唇半母音系

[wi ウィ]	귀	[we ウエ]	궤，늬
[wɛ ウエ]	괘	[wa ワ]	과
[wɔ ウォ]	궈		

4) 長母音

次のように母音の長短によって意味が区別されることがあるが，現在，若い世代にあっては，特に漢字語 (漢語，字音語) の長短の区別が厳密になされているとは言いがたい．長母音は第1音節にあるのが原則であるが，複合語および合成語はこの限りではない．

눈 [nu:n ヌーン] 雪——[nun ヌン] 目
말 [ma:l マール] 言葉——[mal マル] 馬
굴 [ku:l クール] 洞窟——[kul クル] 牡蠣
고대 [ko:dɛ コーデ] 古代
외교 [we:gjo ウェーギョ] 外交

2．子音

破裂音，破擦音，摩擦音には平音 (無気音) のほかに濃音 (硬音) や激音 (有気音) と呼ばれる日本語にはない音がある．その反面，日本語の清音 (無声音) に対する濁音 (有声音) は特定の条件のもと (母音と母音にはさまれるなど) で現われる音声的現象で，例えば [p] と [b] は別の音とは意識されていない．したがって，[b] [d] [g] [dʒ] などは語頭に立たない (頭音法則)．

以下19の子音について，母音 [a] をつけて発音を示す．濃音は [ʔ-]，激音は [-ʰ] の記号を用いて示した．濃音は日本語の促音 (やっぱり・がっかり・ばったり等) に似ているが，それよりも緊張度がはるかに著しい．また，激音は強い呼気を伴う．

[pa パ] ㅂ - [ʔpa パ] ㅃ - [pʰa パ] ㅍ
[ta タ] ㄷ - [ʔta タ] ㄸ - [tʰa タ] ㅌ
[ka カ] ㄱ - [ʔka カ] ㄲ - [kʰa カ] ㅋ
ㄱは日本語のカ行の子音よりも呼気を弱くして発音する．
[ʧa チャ] ㅈ - [ʔʧa チャ] ㅉ - [ʧʰa チャ] ㅊ
ㅈはチャのつもりで発音すると強い気音を伴いやすいので，呼気を弱くしてㅊと区別することが大切である．
[sa サ] ㅅ - [ʔsa サ] ㅆ
[ha ハ] ㅎ　　[ma マ] ㅁ

[na ナ] ㄴ　漢字語で頭音の [n] 音の後に，[jɔ] [jo] [ju] [i] が続くとき [n] 音は発音しない（頭音法則）．

┌남녀 [namnjɔ ナムニョ] 男女
└여자 [jɔdʒa ヨヂャ] 女子

┌매년 [mɛ:njɔn メーニョン] 毎年
└연령 [jɔlljɔŋ ヨルリョン] 年齢

共和国と中国では [n] 音が発音される．
녀자 [njɔdʒa ニョジャ] 女子

[ŋ ン] ㅇ　語頭には立たず音節末でのみ発音される．

[ra ラ] ㄹ　音節末では [l] と発音される．漢字語で語頭の [r] 音の後に [ja] [jɔ] [jo] [ju] [i] が続くとき，[r] 音は大韓民国（韓国）では頭音法則によって発音されない．
이용 [i:joŋ イーヨン] 利用
共和国と中国では [r] 音が発音される．
리용 [ri:joŋ リーヨン] 利用
また，漢字語で語頭の [r] 音の後に [a] [ɛ] [o] [we] (ㅚ) [u] [ɯ] が続くとき，やはり頭音法則により [n] 音に発音される．

┌신라 [ʃilla シルラ] 新羅
└나침반 [natʃʰimban ナチムバン] 羅針盤

以上のほか中国東北部吉林省延辺では，[i] と結合する場合を除き [tʃ] に対しては [ts]，[ʔtʃ] に対しては [ʔts]，[tʃʰ] に対しては [tsʰ] と発音することがある．
자기 [tsagi ツァギ] 自分
어째 [ɔʔtsɛ オッツェ] どうして
연출 [jɔntsʰul ヨンツル] 演出

3．終声の発音

音節末子音を終声という．次の7つである．
[p] [t] [k] [m] [n] [ŋ] [l]
このうち [p] [t] [k] は内破音で閉鎖するだけで破裂しないので耳には聞こえてこない．それぞれ [ᵖ] [ᵗ] [ᵏ] であらわす．
입 [iᵖ イプ] 口　　곧 [koᵗ コッ] すぐ
독 [toᵏ トク] 甕
注意すべきは終声の文字表記と発音の関係である．以下に示すのは異種の表記であるにもかかわらず，同種の終声音として発音されるものどうしをまとめたものである．単終声文字14，重終声文字2（ㅃ ㅉ は終声表記には用いない）と複合終声文字11をあわせて27種ある．複合終声文字はいずれか一方を発音する．

[pˀプ] …ㅂ ㅍ ㅄ ㅞ ㅶ
[tˀッ] …ㄷ ㅅ ㅆ ㅈ ㅊ ㅌ ㅎ
[kˀク] …ㄱ ㄲ ㅋ ㄻ ㄺ
[m ム] …ㅁ ㅞ
[n ン] …ㄴ ㄵ ㄶ
[ŋ ン] …ㅇ
[l ル] …ㄹ ㄺ ㅞ ㄽ ㅀ ㅶ

ただし，ㅞについて，밟-(踏む)は[paᵖ パプ]と発音するのが普通であり，넓-(広い)は活用形においては넓다[nɔlˀta ノルタ]，複合語においては넓적[nɔᵖˀʧɔᵏ ノプチョク]のように二通りの発音をするのが普通である．また，ㄺについては体言である닭(ニワトリ)，흙(土)は[taᵏ タク]，[hɯᵏ フク]と発音するが，用言の場合，[k]の前では읽고(読んで)，읽기(読み方)を[ilˀko イルコ]，[ilˀki イルキ]のように発音する．

4．連音化

終声のあとに母音で始まる助詞・語尾・接尾辞がつけば，後ろの音節に移動して発音する．このとき，上で説明した27種の終声表記文字はそれぞれの音で発音される．

꽃이[ˀkoʧʰi コチ]花が
갚아[kapʰa カパ]返して
있으면[iˀsɯmjɔn イッスミョン]あれば
깎이다[ˀkaˀkida カッキダ]刈られる

ただし，母音で始まる語が続くと，7種の「終声の発音」が適用される．

꽃 아래[ˀkodarɛ コダレ]花の下
무릎 위에[murɯbwie ムルブィエ]膝の上に
값오르다[kaborɯda カボルダ]値上がりする
칡오리[ʧʰigori チゴリ]葛のきれはし
맛없다[madɔːᵖˀta マドープタ]おいしくない
　맛있다(おいしい)は[madiᵗˀta マディッタ]と[maʃiᵗˀta マシッタ]の両方の発音がある．

5．有声音化

[p][t][k][ʧ]が有声音(母音と有声子音の[m][n][ŋ][l])の間にはさまれるとき，[b][d][g][ʤ]と発音される．

제비[ʧeːbi チェービ]ツバメ
공부[koŋbu コンブ]勉強
바다[pada パダ]海
반도[pando パンド]半島
감기[kaːmgi カームギ]かぜ
날개[nalgɛ ナルゲ]翼

무지개 [mudʒigɛ ムヂゲ] 虹

[h] も有声子音と母音の間で有声音化する．有声音化した [h] を [ɦ] と表記する．有声音化に従って終声の [l] は [r] と発音される．

전화 [ʧɔːnɦwa チョーヌヮ] 電話
담화 [tamɦwa タムヮ] 談話
총화 [ʧhoŋɦwa チョンワ] 総和
말하다 [maːrɦada マーラダ] 話す
여행 [jɔɦɛŋ ヨヘン] 旅行
방향 [paŋɦjaŋ パンヒャン] 方向

ただし，母音に後続する音節に半母音 [j] が含まれる場合には [h] は有声音化しない．

고향 [kohjaŋ コヒャン] 故郷

終声がㅎ・ㄴㅎ・ㄹㅎであるものに母音が続くと次のように発音する．

좋은 [ʧoːɯn チョーウン] 良い
많아 [maːna マーナ] 多くて
잃으면 [irɯmjɔn イルミョン] 失えば

6．濃音化

1) [p] [t] [k] [ʧ] [s] は内破音 [ᵖ] [ᵗ] [ᵏ] に後続すると，それぞれ [ʔp] [ʔt] [ʔk] [ʔʧ] [ʔs] と発音される．

앞바다 [aᵖʔpada アッパダ] 沖
맞돈 [maᵗʔtoːn マットーン] 現金
학교 [haᵏʔkjo ハクキョ] 学校
낙지 [naᵏʔʧi ナクチ] たこ

2) 前の音節末が内破音 [ᵗ] のときは摩擦音 [s] に融合して濃音で発音される．

옷소매 [oʔsomɛ オッソメ] 袖

3) 内破音 [ᵖ] [ᵏ] は [s] [ʃ] の前では外破音化し，[s] [ʃ] は濃音化する．

입술 [ipʔsul イプスル] 唇
값이 [kapʔʃi カプシ] 値段が
목숨 [mokʔsum モクスム] 命
낚시 [nakʔʃi ナクシ] 釣り

4) 中間ㅅ音による合成語においても，後続語の頭音が [s] の場合を除いて内破音 [ᵗ] を発音する．

김칫국 [kimʧʰiᵗʔkuᵏ キムチックク] キムチの漬け汁
바닷가 [padaᵗʔka パダッカ] 海辺

5) 用言語幹の場合

① 終声 [m] [n] に [t] [k] [ʧ] [s] で始まる語尾が後続すると濃音化する．
ただし，接尾辞-기-は濃音化しない．

심다 [ʃimʔta シムタ] 植える

삶고 [samʔko サムコ] 茹でて
앉지 [anʔʧi アンチ] お座り
안습니다 [anʔsɯmnida アンスムニダ] 抱きます
옮기다 [omgida オムギダ] 移す
안기다 [angida アンギダ] 抱かれる

② 終声 [l] の中で，終声字がㄻとㄿのときは [t] [k] [ʧ] [s] で始まる語尾が後続すると濃音化する．ただし，ㄹの後では [t] [k] [ʧ] は有声音化する．

떫다 [ʔtɔlʔta トルタ] 渋い
핥고 [halʔko ハルコ] 舐めて
알고 [aːlgo アールゴ] 知って
만들자 [mandɯldʒa マンドゥルヂャ] 作ろう

6) 漢字語の場合，終声 [l] の後の [t] [ʧ] [s] は濃音化する．

발달 [palʔtal パルタル] 発達
발전 [palʔʧɔn パルチョン] 発展
물산 [mulʔsan ムルサン] 物産

7) 終声 [l] が未来連体形語尾ㄹの場合，その後の [p] [t] [k] [ʧ] [s] は濃音化する．

갈 데 [kalʔte カルテ] 行くところ
할 줄 [halʔʧul ハルチュル] するすべ（方法）

8) 合成語の場合，前接語の末音 [m] [n] [ŋ] [l] に続く後続語の頭音 [p] [t] [k] [ʧ] [s] は濃音化する．

등불 [tɯŋʔpul トゥンプル] 明かり
산속 [sanʔsoᵏ サンソク] 山中
길가 [kilʔka キルカ] 道端
잠자리 [ʧamʔʧari チャムチャリ] 寝床

7．激音化

終声 [ᵗ] [n] [l] のうち文字表記がㅎ・ㄶ・ㄾであるものに [t] [k] [ʧ] が続けば，それぞれ [tʰ] [kʰ] [ʧʰ] のように激音化する．

좋다 [ʧoːᵗtʰa チョーッタ] 良い
않고 [ankʰo アンコ]…なくて
닳지 [talʧʰi タルチ] 減ら（ない）

また，終声 [ᵖ] [ᵗ] [ᵏ] に [h] が続けば，[pʰ] [tʰ] [kʰ] のように激音化する．

입학 [iᵖpʰaᵏ イプパク] 入学
깨끗하다 [ʔkɛʔkɯᵗtʰada ケックッタダ] 清潔だ

そして，終声 [ᵗ] のうち文字表記がㅈと複合終声ㄵ，ㄼ，ㅀに，ㅎで始まる接尾辞히が続くと次のように激音化する．

잊히다 [iᵗʧʰida イッチダ] 忘れられる
앉히다 [anʧʰida アンチダ] 座らせる
읽히다 [ilkʰida イルキダ] 読ませる
밟히다 [palpʰida パルピダ] 踏まれる

8. 鼻音化

終声 [ᵖ] [ᵗ] [ᵏ] に [n] か [m] が続けば次のように鼻音化する.

돕는다 [tomnɯnda トムヌンダ] 手伝う
없는 [ɔ:mnɯn オームヌン] 無い
닫는다 [tannɯnda タンヌンダ] 閉める
낳는 [nannɯn ナンヌン] 産む
의는다 [iŋnɯnda インヌンダ] 熟す
몫만 [moŋman モンマン] 分け前だけ
덧니 [tɔnni トンニ] 八重歯
아랫니 [arɛnni アレンニ] 下の歯

漢字語の場合には, 終声 [m] [ŋ] [p] [k] に [r] が続くと, [p] [k] は [m] [ŋ] に発音され, [r] が [n] に発音される.

심리 [ʃimni シムニ] 心理
강력 [kaŋnjɔᵏ カンニョク] 強力
협력 [hjɔmnjɔᵏ ヒョムニョク] 協力
독립 [toŋniᵖ トンニプ] 独立

共和国と中国では [p] [k] は鼻音化するが, [r] は鼻音化せず [r] で発音されることを規範とする.

심리 [ʃimri シムリ]
강력 [kaŋrjɔᵏ カンリョク]
협력 [hjɔmrjɔᵏ ヒョムリョク]
독립 [toŋriᵖ トンリプ]

9. 舌側音化

終声 [n] に [l] が続く場合 (漢字語) と終声 [l] に [n] が続く場合は次のように [ll] と発音される.

신라 [ʃilla シルラ] 新羅
천리 [ʧʰɔlli チョルリ] 千里
칼날 [kʰallal カルラル] 刃
불놀이 [pullori プルロリ] どんど焼き
뚫는다 [ʔtullɯnda トゥルルンダ] 穴をあける
훑는다 [hollɯnda ホルルンダ] こそげ落とす

ただし, 漢字語に漢字語接尾辞がついた場合, 韓国では舌側音化せず [n] と発音され, 共和国と中国では [n] + [r] のままで発音されるのが原則である.

생산량 [sɛŋsannjaŋ / sɛŋsanrjaŋ センサンニャン / センサンリャン] 生産量
음운론 [ɯmunnon / ɯmunron ウムンノン / ウムンロン] 音韻論

10. 口蓋音化

終声 [t] のうち, 文字表記がㄷ, ㅌのものと終声 [l] のうち文字表記がㄹのものに, 母音 [i] で始まる助詞や接尾辞が続くと, [dʒ] [ʧʰ] と発音される.

굳이 [kudʒi クヂ] あえて
해돋이 [hɛdodʒi ヘドヂ] 日の出
같이 [kaʧʰi カチ] 一緒に
샅샅이 [saˀsaʧʰi サッサチ] くまなく
밭이 [paʧʰi パチ] 畑が
훑이다 [holʧʰida ホルチダ] こそげ落とされる

文字表記ㄷのあとに [hi] が続くときも口蓋音化が起こる.

닫히다 [taᵗʧʰida タッチダ] 閉められる

なお, 次の発音に注意.

붙여 [puʧʰɔ プチョ]
　<붙이 [puʧʰi プチ] +어 [ɔ オ] 付けて

11. [n] 挿入 (リエゾン)

合成語や複合語において, 終声に母音 [i] か半母音 [j] が続く時, [n] が挿入されることがある.

간장염 [kaːndʒaŋnjɔm カーンヂャンニョム] 肝臓炎
꽃잎 [ˀkonniᵖ コンニプ] 花びら
부산역 [pusannjɔᵏ プサンニョク] 釜山駅
담요 [tamnjo タムニョ] 毛布

꽃잎は [n] 挿入によって鼻音化を起こした例である.

次の例は [n] 挿入によって舌側音化を起こしたものである.

물약 [mulljaᵏ ムルリャク] 水薬
솔잎 [solliᵖ ソルリプ] 松葉

中間ㅅ音 (終声 [t]) の場合も同じである.

나뭇잎 [namunniᵖ ナムンニプ] 木の葉

ただし, このような条件下でも [n] 挿入が起きない例もある.

안약 [aːnjaᵏ アーニャク] 眼薬